



平成23年度(2011年度)  
活動報告

平成24年3月30日

国際知的財産保護フォーラム(IIPPF)

# 国際知的財産保護フォーラム（IIPPFF）

## 平成23年度（2011年度）活動報告

1. メンバー数 . . . . . P. 3
2. IIPPFF主要活動記録 . . . . . P. 3
3. 企画委員会 . . . . . P. 4 ~ P. 5
4. プロジェクト活動 . . . . . P. 6 ~ P. 28
  - 第1プロジェクト . . . . . P. 6 ~ P. 9
  - 第2プロジェクト . . . . . P. 10 ~ P. 18
  - 第3プロジェクト . . . . . P. 19. ~ P. 20
  - 第4プロジェクト . . . . . P. 21 ~ P. 25
  - 非プロジェクト . . . . . P. 26 ~ P. 28

## 1. メンバー数

90団体、158企業 合計 248 (2012年3月現在)

## 2. IIPP主要活動記録

### 【2011年】

4月17日～19日	第1回知的財産保護官民合同訪中代表团 (広東省ハイレベルミッション) 派遣
6月22日～25日	第2回知的財産保護官民合同訪中代表团 (フォローアップミッション) 派遣
7月20日～22日	広州ミドルレベルミッション派遣
8月22日	中国税関招聘に係るIIPPとの意見交換会
11月23日～26日	第9回知的財産保護官民合同訪中代表团 (北京実務レベルミッション) 派遣
12月11日～14日	第1回知的財産保護官民合同訪中代表团 (広州実務レベルミッション) 派遣

### 【2012年】

1月11日	中国国家工商行政管理総局招聘に係るIIPPとの意見交換会
2月21日	ドバイ税関招聘に係るIIPPとの意見交換会
3月6日	中国国家質量技術監督検験検疫総局招聘に係るIIPPとの意見交換会

### 3. 企画委員会の開催

2011年度は企画委員会を6回開催し、以下の議題について報告・検討した。

#### (1) 第1回

日時：2011年4月25日（月） 16:00～18:00

場所：ジェットロ本部

議事：

- 新企画委員の紹介
- 官民合同訪中代表団（ハイレベル地方派遣）について
- 各プロジェクトからの報告
- 中国税関の知的財産権登録に係る調査について
- 再犯業者調査について
- IIPPF 10周年記念式典開催時期について

#### (2) 第2回

日時：2011年6月23日（木） 14:00～16:00

場所：ジェットロ本部

議事：

- 新企画委員の紹介
- 訪中フォローアップミッション及びアンケート調査について
- 各プロジェクトからの報告
- INPIT 知財プロデューサーの活動について

#### (3) 第3回

日時：2011年8月25日（木） 13:00～15:00

場所：ジェットロ本部

議事：

- 広州ミドルレベルミッション実施報告
- 日中インターネットシンポジウム実施報告
- 各プロジェクトからの報告
- 知的財産推進計画2011について
- 農薬工業会からの報告（農薬の知的財産権等の保護について）
- 中国及び第3国に対する要請事項アンケート報告

(4) 第4回

日時：2011年11月2日（水） 14:00～16:00

場所：ジェトロ本部

議事：

- 第3回日中知財WGの開催報告
- ACTA調印式・シンポジウムの開催報告
- 第7回日中著作権会議の開催報告
- 模倣品対策データベース研究会の設置について
- 各プロジェクトからの報告
- 特許庁からの「模倣品・海賊版撲滅キャンペーン」への協力依頼
- 役員人事について

(5) 第5回

日時：2011年12月22日（木） 15:00～17:00

場所：ジェトロ本部

議事：

- 実務レベル北京訪中ミッション実施報告
- 実務レベル広東省訪中ミッション実施報告
- ジェトロより報告（副座長選任に関わる総会開催（書面審議）について）
- 各プロジェクトからの報告
- IIPPF 総会について
- 自動車工業会から報告（自動車工業会と中国自動車協会との交流会について）
- 日中知財ワーキンググループについて

(6) 第6回

日時：2012年2月23日（木） 14:00～16:00

場所：ジェトロ本部

議事：

- 2011年度総会の件
- 2012年度の主要事業について
- 各プロジェクトからの報告
- 自動車工業会から報告（自動車工業会と中国自動車協会との交流会の新聞掲載について）

## 4. プロジェクト活動

### (1) 第1プロジェクト（中国への協力・要請）

#### ① 第1プロジェクトの活動

第1プロジェクトでは、従来と同様に「協力と要請（建議）」を基本方針とし、今年度は新たに広東省を含む中国への計5回のミッション派遣をおこなった。

4月に実施した広東省ハイレベルミッションでは、共産党広東委員会書記である汪洋書記と会談し、広東省と知財保護の協力関係の構築を合意した。また期間中、昨年度ハイレベルミッションで商務部と合意した日中広州交易会知的財産権保護シンポジウムを広州交易会において開催した。

さらに広東省との協力を進めるため、7月には広東省ミドルレベルミッションを派遣し、広東省知識産権局との意見交換をおこなった。12月には実務レベルとしては初の広東省へのミッション派遣を実施し、現地IPGと連携して広東省工商行政管理局、広東省質量技術監督局、広東省知識産権局の3機関との会談をおこなった。

他の2回のミッションは、昨年度の実務レベルミッションの建議事項の進展を確認するフォローアップミッション（6月）と北京中央政府を訪問した実務レベルミッション（11月）である。

訪中ミッション以外では、中国税関訪日団、国家工商行政管理総局訪日団、国家質量技術監督検疫総局訪日団の一行等とそれぞれ意見交換をおこなった。

#### ② 活動記録

##### i) プロジェクトメンバー

幹事：日本知的財産協会

副幹事：(独)日本貿易振興機構

62社、44団体

##### ii) 概要および活動結果

#### 1. 訪中ミッション派遣

第1回知的財産保護官民合同訪中代表団（広東省ハイレベルミッション）派遣

期間：2011年4月17日～19日

参加者：志賀俊之座長、林康夫副座長、経済産業省 鈴木正徳製造産業局長含む

27名

会見者・訪問先：汪洋広東省書記、広東省知識産権局

第2回知的財産保護官民合同訪中代表団（フォローアップミッション）派遣

期間：2011年6月22日～25日

参加者：27名

訪問先：海関総署、国家工商行政管理総局、国家質量監督検験検疫総局、社会科学学院、中国人民大学

広州ミドルレベルミッション派遣

期間：2011年7月20日～22日

参加者：15名

訪問先：広東省知識産権局

第9回知的財産保護官民合同訪中代表団（北京実務レベルミッション）派遣

期間：2011年11月23日～28日

参加者：53名

訪問先：最高人民法院、農業部、海関総署、国家工商行政管理総局、国家質量監督検験検疫総局、国家版權局、国家林業局

第1回知的財産保護官民合同訪中代表団（広州実務レベルミッション）派遣

期間：2011年12月11日～14日

参加者：30名

訪問先：広東省工商行政管理局、広東省質量技術監督局、広東省知識産権局

**2. 中国政府機関との意見交換会**

中国税関職員招聘に係る IIPPF との意見交換会

日時：2011年8月22日

場所：ジェットロ会議室

中国側参加者：6名

日本側参加者：23名

議題：

- ・ 「中華人民共和国知的財産権税関保護条例」に関する実施弁法の改正作業の進捗状況について
- ・ 各地方税関が通関業務・知的財産権保護業務において直面している権利者の対応に係る問題について

- ・ 差止物品の保管・処分費用の管理状況について

#### 中国国家工商行政管理総局招聘に係る IIPPF との意見交換会

日時：2012年1月11日

場所：ジェトロ会議室

中国側参加者：5名

日本側参加者：28名

議題：

- ・ 捜査権限外の場所(民家・倉庫)における生産事例
- ・ 半製品の押収と不法経営額算定の事例
- ・ ロゴ印刷用具が発見された場合の事例
- ・ 塗装による改装製品に対する事例
- ・ 撤去命令後の実効性確保に関する事例
- ・ 商号登記問題の事例
- ・ 冒認登録権利に基づく抗弁の事例

#### 中国国家質量技術監督検疫総局招聘に係る IIPPF との意見交換会

日時：2012年3月6日

場所：ジェトロ会議室

中国側参加者：9名

日本側参加者：19名

議題：

- ・ 各地方 TSB における処罰決定書の交付に関する運用実態と政府情報公開条例の活用について
- ・ 各地方 TSB における生産分野と流通分野の区分の実態について
- ・ 処罰歴データベースの構築について

### **3. 定期会合**

以下の日程で計11回の会合を日本知的財産協会会議室にて開催した。

4月25日、5月25日、6月27日、8月24日、9月27日、10月24日、11月29日、12月19日、1月30日、2月27日、3月22日

#### **③第1プロジェクトの来期の計画**

中国中央政府や、一部の地方執行部門では、知財権保護に向けた行動が取られたにも関わらず、模倣品・粗悪品の製造・販売状況は依然深刻であり、更なる改善に向けた打ち手が期待される。現地 IPG と連携を図りつつ、ミッションを



通じた中央政府や、広東省等の模倣品被害の深刻な地方政府への働き掛けを強化して行きたい。

以上

## **(2) 第2プロジェクト(中国以外の国・地域への対応プロジェクト)**

### **中東WG**

#### **①中東WGの活動及びその背景**

中東WGは、一般社団法人日本自動車工業会を幹事、社団法人 電子情報技術産業協会を副幹事とする体制で活動を行った。WG会合では、メンバー企業の模倣対策経験事例を共有するとともに、ドバイ税関を中心とした政府機関に対し知財権保護強化を求めるためのアプローチ方法について検討した。その一環として、ドバイ税関内の物流導線解明のために、物流会社から情報収集を行った。

2012年2月にドバイ税関長一行を日本に招聘し、ドバイ税関における知財保護の実務について、意見交換を行った。

#### **②活動記録**

##### **i) WGメンバー**

メンバー：

19社、10団体

事務局：(独) 日本貿易振興機構

##### **ii) 概要および活動結果**

###### **1. ドバイ税関長一行との意見交換**

2012年2月、ドバイ税関長一行が来日し、ドバイ税関における知的財産権保護の実務について意見交換を行った。訪問メンバーには、税関長のほか、知的財産保護及び情報・リスク分析の責任者も含まれていた。これにより、ドバイ税関での知財保護の状況、リスク分析システム、再輸出貨物への対応、ドバイ税関による行政処罰権限など多岐にわたる項目につき、意見交換を行った。

<ドバイ税関一行メンバー>

Ahmed Butti Ahmed Almuhairi 氏  
Director General, Dubai Customs

Abbas Alhaj Abdulla Makki 氏  
Director External Relations, Dubai Customs

Abdulla Salem Saif Obaid Alshaer 氏  
Director Intelligence, Dubai Customs

Yousuf Ozair Mubarak Ahmad 氏  
Senior Manager, Intellectual Property Department, Dubai Customs

## 2. ドバイ税関内の物流導線解明

中東WGでは、ドバイ税関での知的財産権侵害品差し止めを強化し、各地域への模倣品拡散を防止するための対応（ロビィ活動・調査など）について検討している。今年度は、その一環として、ドバイ税関を中心とした UAE の物流について基本的な情報を理解することが重要との認識にいたり、日本の物流企業のドバイ駐在経験者を招き、現地事情に関する講演を実施した。

## 3. 会合の開催

メンバー企業の模倣対策経験事例の共有、ドバイ税関招聘活動に関する検討をテーマの中心とした会議を8回実施した。

### 第1回会合（2011年4月5日）

- ・FY10活動振り返りとFY11年度活動計画内容検討

### 第2回会合（2011年5月16日）

- ・FY11活動計画の決定
- ・JAMA/JEITA依頼調査項目進捗
- ・DVD「日本企業を悩ます中国の模倣品と法制度」の紹介

### 第3回会合（2011年6月14日）

- ・JAMA/JEITA依頼調査項目進捗
- ・ドバイ税関内の物流導線解明調査：調査スペック集約内容確認
- ・招聘・訪問ミッション進捗
- ・各社事例紹介

### 第4回会合（2011年7月26日）

- ・「中東における模倣品事例紹介」  
株式会社東芝 知的財産部 深谷栄二 氏
- ・「輸出入業務と税関の役割」

- 日産自動車株式会社 財務部 三浦昭二 氏
- ・ JAMA/JEITA 依頼調査項目進捗
  - ・ ドバイ税関内の物流導線解明調査
  - ・ 招聘・訪問ミッション等

第 5 回会合（2011 年 10 月 18 日）

- ・ 「ドバイの通関事情について」  
株式会社日新 国際営業第一部 東裕 氏 奈良大輔 氏
- ・ 「トヨタにおける中近東での模倣品対策活動」  
トヨタ自動車株式会社 知的財産部コーポレート室 山田正康 氏
- ・ JAMA/JEITA 依頼調査項目進捗
- ・ 当局へのロビイ活動検討

第 6 回会合（2011 年 11 月 22 日）

- ・ ドバイ税関招聘ミッション
- ・ ロビイ活動（訪問ミッション）検討
- ・ JAMA/JEITA 依頼調査項目進捗

第 7 回会合（2012 年 1 月 18 日）

- ・ ドバイ税関職員招聘のロジとサブ確認

第 8 回会合（2012 年 3 月 27 日）

- ・ ドバイ税関長一行振り返り
- ・ FY12 活動計画及び FY13 活動コンセプト

## アセアンWG、インドWG

### ①アセアンWG、インドWGの活動及びその背景

アセアンおよびインドについては、現地の最新情報収集を目的とし、現地弁護士や調査会社等を講師として東京でセミナーを開催するとともに、IIPPF会員との意見交換会を実施した。また、現地の政府機関と権利者との交流の機会としてインドネシア、タイ、フィリピン、マレーシアに加え、初めてインドにても真贋判定セミナーを開催し、最新の模倣品状況や真贋判定情報について共有した他、別途政府機関と参加者による意見交換を行った。

また、各国法規則等の改正にかかるパブリックコメントについてメンバーから意見を収集し、積極的に現地政府機関に提出した。昨年度マレーシアにむけて提出した意見書については、一部意見が反映された。

### ②活動記録

#### i) WGメンバー

メンバー：

51社、17団体

事務局：(独)日本貿易振興機構

#### ii) 概要および活動結果

##### 1. 真贋判定セミナーおよび意見交換会の開催

###### インドネシア（スラバヤ）真贋判定セミナー

インドネシア・ジャカルタにて、現地の税関、警察、裁判所、知的財産庁等担当者を対象に真贋判定セミナーを開催し、真贋判定情報について情報共有を行った（2011年7月21日、インドネシア側参加者約50名、日本側参加企業数13社）。また、別途東ジャワ州警察を訪問し、同国における知財エンフォースメントについて意見交換を行った。

###### タイ（バンコク）真贋判定セミナー

タイ・バンコクにて現地の知財局、経済警察、法務省・特別捜査局、税関、裁判所等担当者を対象に真贋判定セミナーを開催した。（2011年9月15日、タイ側参加者約100名、日本側参加企業数8社）。パッチマ・タナサンティ知財局長、プラソン・ポーンタニート税関局長も参加し、本セミナーの継続性の重要性に触れた。セミナー翌日にはバンコク税関局を訪問

し、差止め手続きに関する税関との各種意見交換、知的財産侵害品の検査や模倣品展示室の視察等を行った。

#### マレーシア（クアラルンプール）真贋判定セミナー

マレーシア・クアラルンプールにて、「模倣品対策に関するマレーシア政府とのダイアログ」を開催した。（2011年12月6日、マレーシア側参加者約30名、日本側参加企業数5社）午前には模倣対策に関するマレーシア側からのプレゼンと意見交換会、午後は真贋判定セミナーを開催し、エンフォースメントにおける運用状況について活発に意見交換を行った。

#### フィリピン（マニラ）真贋判定セミナー

フィリピン・マニラにて、現地の税関、国家捜査局、国家警察等担当者を対象に真贋判定セミナーを開催し、真贋判定情報について情報共有を行った（2011年12月9日、フィリピン側参加者約50名、日本側参加企業数6社）。また、別途マニラ税関を訪問し、税関側からは権利者からの情報提供の重要性について言及があった他、差止めの運用について意見交換を行った。

#### インド（ムンバイ）真贋判定セミナー

インド・ムンバイにて、ムンバイ税関を対象に真贋判定セミナーをインドで初めて開催し、真贋判定情報や最新の侵害品情報や流入ルートについて情報共有を行った（2012年2月23日、インド側参加者約50名、日本側参加企業数8社）。また、ムンバイ税関側からインドにおける税関差止めの制度、差止め実績について発表があり、参加した権利者との間で活発な質疑応答がなされた。

## 2. 日本における知的財産セミナーの開催

#### インド模倣品対策セミナー

インドの模倣品摘発方法として、裁判所への差止め申請と警察への告訴それぞれについて、インドの弁護士および調査会社担当者を講師から解説するセミナーを東京（2011年8月24日、参加者：約160名）で開催するとともに、IIPP F会員との意見交換会（セミナー翌日）を実施した。

#### インド水際対策セミナー

インドの弁護士事務所を講師に、同国の水際対策に関するセミナーを東京（2011年1月19日、参加者：約130名）で開催するとともに、I I

PPF会員との意見交換会（セミナー同日）を実施した。

#### インドネシア知財セミナー

インドネシアで日本企業の模倣対策活動支援をしているコンサルティング企業、および進出支援をしている日本国弁護士を講師に、同国でのビジネスにおける知財上の問題についてのセミナーを、大阪（2012年3月1日、参加者：約100名）、東京（2012年3月2日、参加者：約130名）でそれぞれ開催するとともに、IIPPF2プロメンバーとの意見交換会を東京（セミナー同日）で実施した。

### 3. 会合の開催

#### アセアンWG

第1回会合（2011年9月6日）

- ・ベトナムにおける模倣対策について日本企業から発表
- ・同国にミッション派遣した団体から現地政府機関との意見交換内容を報告

第2回会合（2011年12月20日）

- ・アセアンにおける模倣品摘発活動についてWGメンバー企業から発表
- ・アセアンにおける商標取り消し問題についてWGメンバー企業から発表
- ・ジェトロの各アセアン事務所知財担当者とWGメンバーとの交流

第3回会合（2012年3月2日）

- ・インドネシアコンサルティング会社と日本国弁護士とWGメンバーとの同国知財問題に係る意見交換

#### インドWG

第1回会合（2011年8月25日）

- ・インド弁護士とWGメンバーとのインドの模倣品対策に係る民事手続きと刑事手続きの比較にかかる各種意見交換

第2回会合（2012年1月19日）

- ・インド弁護士とWGメンバーとのインド水際対策に係る意見交換
- ・ムンバイ真贋判定セミナー参加に関する確認

## 4. パブリックコメントへの対応

### マレーシアTDTCC案へのコメント提出と反映

マレーシア国内取引・共同組合・消費者省(MDTCC)から提示された、エンフォースメントにおける権利者からの念書提出義務案に対し、第2プロジェクトおよびマレーシアIPGで意見を取りまとめ、ジェトロクアラ Lumpur センターを通じて2011年3月1日に同省に提出した。同案については、2011年11月にマレーシアで施行されたが、報告・鑑定期限に間に合わなかった企業のブラックリスト化の廃止や鑑定期限の延長等、提出した意見の一部が反映された。

### インド実用審査制度導入案にむけたコメント提出

インド特許・意匠・商標総局(CGPD TM)から、パブリックコメント募集のあった実用新案の導入にむけたディスカッション・ペーパー案に対し、第2プロジェクト内で意見書をまとめ、ジェトロニューデリーセンターを通じ、2011年6月30日に同局に提出した。

### ③今後の活動

- ・ 現地の最新動向について継続して情報収集し、適宜専門家との意見交換を行う。
- ・ 真贋判定セミナーや意見交換会等を通じて現地の関係機関との協力事業を実施する。
- ・ 各国のパブリックコメント募集に対して、日本企業へ影響の大きい事案を優先的に各種要請・協力の提案を行う。
- ・ 我が国の政府・各種団体等と意見交換し、重要なテーマがあれば、その取り組み方について企画委員会に諮る。

## ロシアCIS・東欧研究会

### ①ロシアCIS・東欧研究会の活動及びその背景

同研究会は、ロシアCISおよび東欧地域での実効性の高い模倣品対策に資するための情報収集を行うと共に、参加メンバー間で同対策について意見交換を行うことを目的として、2010年6月に設立した。

今年度は、模倣対策マニュアルロシア編や、ニュースレターの作成などを通じて、昨年度に引き続きロシアCISおよび東欧地域における知財関連情報の



収集・提供を行うとともに、より具体的な模倣品対策活動として、モスクワにて税関職員向け真贋判定セミナーを開催し、併せて現地取締機関との意見交換を行い、現地取締機関による模倣品取締の向上を図った。

## ②活動記録

### i) 研究会メンバー

メンバー：

12社、5団体

事務局：(独)日本貿易振興機構

### ii) 概要および活動結果

#### 1. ロシア（モスクワ）真贋判定セミナーの開催

ロシア・モスクワにて、現地の税関職員を対象に真贋判定セミナーを開催し、真贋判定情報について情報共有を行った（2011年10月11日、ロシア側参加者13名、日本側参加企業数8社（発表企業数は6社））。また、併せて連邦税関局、内務省およびルスブランド（知財業界団体）と同国における知財エンフォースメントについて意見交換会を実施し、現地政府機関、業界団体との関係構築を行った。

#### 2. 会合の開催

第1回会合（2011年4月8日）

- ・知的財産ワークショップ in モスクワの開催報告
- ・ロシア・ウクライナの模倣品流通実態調査結果報告
- ・2010年度の活動結果報告
- ・2011年度の活動方針について検討

第2回会合（2011年7月25日）

- ・ロシア・ウクライナ模倣品流通実態調査結果報告
- ・ロシアにおける模倣対策（商標権侵害対策）についてメンバー企業より発表
- ・税関向け真贋判定セミナーの開催について検討
- ・ポーランドにおける模倣品流通実態とその対策について報告

### 第3回会合（2012年3月28日）

- ・モスクワ知的財産ワークショップ開催および知財関係機関訪問報告
- ・在外公館知財担当者会議報告
- ・営業秘密問題についてメンバー企業より報告
- ・2011年度の活動結果報告
- ・2012年度の活動方針について検討

### ③今後の活動

- ・【情報収集・発信】知財法制度・権利執行制度に関する情報等で、過去2年間の活動で収集できなかった情報、および過去2年間から更新されている情報を収集、発信することで、最新の制度概要を把握する。
- ・【政府機関との連携強化】今年度に引き続き、真贋判定セミナーや政府機関との意見交換会の開催を通じて、さらなる現地機関との関係構築および模倣品取締状況の改善を図る。

### (3) 第3プロジェクト（情報交換プロジェクト）

#### ①第3プロジェクトの活動とその背景

模倣品手口の悪質化を含め、知的財産権に関わる問題が多様化・高度化する中で、企業・団体においては、権利保護や権利執行の面で、より効果的な戦略を構築する必要がある。しかし、個別に蓄積された経験だけでは十分ではなく、各企業・団体間の情報共有によって、その取組みの強化を図る必要がある。

こうしたことから、第3プロジェクトでは、企業・団体の模倣品対策等の体制強化に資することを目的として、業種横断的な情報交換・共有化の促進を図ってきた。平成23年度は、特許侵害訴訟、実用新案、製品品質法、水際対策と体系的に中国での知的財産保護に関するテーマを設定し計4回の情報交換会を開催した。

#### ②活動記録

##### i) プロジェクトメンバー

幹事：(独)日本貿易振興機構

副幹事：日本弁理士会

メンバー：68企業、25団体

##### ii) 活動結果

##### <情報交換会>

##### 第1回情報交換会（2011年5月19日）

##### ・「富士化水の判例紹介」

北京銀龍知識産権代理有限公司 日本部 日本弁理士 雙田飛鳥氏

##### ・「富士化水工業 中国特許侵害訴訟の真実」

富士化水工業(株) 代表取締役社長 井本浩嗣氏

##### 第2回情報交換会（2011年8月30日）

##### ・「中国実用新案制度の対策とその活用」

北翔知識産権代理有限公司 日本弁理士 西内盛二氏

##### 第3回情報交換会（2011年12月2日）

##### ・「模倣品対策データベースの研究会設置と今後の取り組みについて」

日産自動車株式会社 IP プロモーション部 原楨康裕氏

##### ・「製品品質法と模倣対策遂行上の質量局の効果的活用」

- IP FORWARD 代表 日本国弁護士 分部悠介 氏
- ・「模倣品摘発に関する質量技術監督局の利用について」  
独立行政法人 工業所有権情報・研修館  
海外知的財産プロデューサー 加茂広 氏

#### 第4回情報交換会（2012年2月16日）

- ・「第1回模倣品共通DB研究会開催報告」  
日産自動車株式会社 IP プロモーション部 原禎康裕 氏
- ・「中国の輸出物流の実態」  
（株）日通総合研究所 ロジスティックコンサルティング部  
主任コンサルタント 陳麗梅 氏
- ・「中国海関における模倣品対策活動」  
キヤノン（株） 知的財産法務本部 知的財産渉外センター  
模倣品対策課 課長 小澤潤 氏

#### <模倣対策共通DB(データベース)研究会>

##### 第1回研究会（2012年1月28日）

- ・ 目標とするDBの内容追加および機能抽出
- ・ 既存ツールの紹介

##### 第2回研究会（20120年3月12日）

- ・ 目標とするDBの機能集約
- ・ 既存ツールの評価

#### 【補足：模倣対策共通DB研究会発足の背景】

模倣品が世界的に蔓延しているが、費用の制約等の理由から抜本的な解決は難しい。さらに、模倣品対策情報や対策活動は多様化しているが、今までは各権利者間での情報共有の機会が十分ではなかった。そこで、各権利者が情報を迅速に共有し、より効率的な模倣品対策を実施するための支援となる「模倣対策共通DB」の構築を目的とした研究会が第3プロジェクト内に発足した。

以上

## 第4プロジェクト(協力プロジェクト)

### ①第4プロジェクトの活動とその背景

第4プロジェクトでは、模倣品・海賊版など関係国における問題解決には、政府機関への改善要請などの働きかけに加え、民間レベルでの情報提供や人材育成協力等が重要であるとの観点から、一般国民等に対する知的財産普及啓発活動を推進している。

今年度も昨年度と同様の活動方針のもと、大学等の既存の枠組みを活用した知的財産に関する講義の実施、青少年に対する知財保護教育、模倣品・海賊版などに関する展示会を実施するとともに、ウェブサイトによるメッセージを発信した。

また、海外においても中国の小学校において、青少年に対する知財保護教育を実施した。

### ②活動記録

#### i) プロジェクトメンバー

幹事：(社)発明協会

副幹事：(財)対日貿易投資交流促進協会、ビジネスソフトウェアアライアンス

メンバー：11団体、1社

#### ii) 概要

(ア) 既存の枠組み(各種研修、大学での講座等)を活用し、知財関係者への講義又は、意見交換等の人材育成協力活動を通じ、知的財産保護意識の向上を図った。

(イ) 国民全体の知財保護に関する意識を底上げするため、青少年に対する知財を尊重する意識の醸成を目的として、「出張! IPカルチャー教室」を開催し、参加者自らがオリジナル創作体験を通じてものづくりの楽しさを体得しながら、アイデア尊重意識の醸成を図る取り組みを実施した。

(ウ) 関係企業・団体の協力の下、既存の枠組みを利用して、模倣品・海賊版などに関する展示会を実施し、一般消費者等に向けて、模倣品・海賊版などに関する被害状況等の情報発信を行った。

(エ) 海外においても、中国北京市の小学校において、青少年に対する知財を尊重する意識の醸成、及び知的財産権の知識/意識を広めることを目的とした知財保護教育を実施した。

(オ) I I P P Fのウェブサイトによる消費者向けメッセージの発信等を通じ、内外国民への啓発に努めた。

### iii) 活動結果

(ア) 会合（2011年11月9日（水））

前年度実施した各事業の活動方針と内容を振り返りながら、平成23年度のプロジェクト活動方針・内容について協議し、①既存の研修スキームや大学での講座を活用した知財関係者への講義、②「出張！IPカルチャー教室」開催による小学生を対象に知財を尊重する意識の醸成、③模倣品・海賊版などの展示会により模倣品・海賊版に対する被害状況等の情報発信、④海外の活動として、中国の小学生を対象にした知財を尊重する意識の醸成、⑤更に、I I P P Fのウェブサイトを活用した情報提供について、各団体が自主的にリソース（人的・物的等）や知見を拠出しながら、活動を推進するとのスタンスを確認した。

(イ) 既存の研修スキームや大学での講座を活用した人材育成協力活動

(a) 慶應義塾大学（2011年10月19日（月））

I I P P F第4プロジェクト後援講義として、「ソフトウェアの著作権侵害（パライシー）対策の実務と企業法務の課題」をテーマに、マイクロソフト株式会社法務・政策企画統括本部の伊藤ゆみ子部長（BSA推薦）による講義を行った。

(b) 政策研究大学院大学（2011年10月13日（木））

I I P P F第4プロジェクト後援講義として、「企業法務—知的財産関連業務—」をテーマに、株式会社カプコン法務・知財管理統括 法務部の伊達裕成部長（ACCS推薦）による講義を行った。

(c) 千葉大学（2011年11月8日（火）、15日（火）、29日（火））

知的財産の講座の中で、I I P P Fの活動や模倣品被害の実態等について、東京大学大学院三原健治准教授による講義を行った。

(d) 既存の研修スキーム

I P R研修（IPトレーナーズコース）2011年7月12日（火）（発明協会アジア太平洋工業所有権センター実施）において、アジア諸国の知財教育者を対象に、I I P P Fの活動や模倣品被害の実態等について講義を行った。

(ウ) 青少年向け知財普及啓発活動（出張！IPカルチャー教室の開催）

知的財産保護の重要性に対する認識を広めるべく、小学生を対象として、他人の知的財産権を尊重する意識の醸成、知的創造活動体験を目的とした「出張！IPカルチャー教室～親子で学ぼう！知的財産」を開催し、併せて特許庁、関係団体・企業の協力の下、真正品と模倣品の展示を行った。

<開催日時・場所>

期日：2011年7月23日（土）

会場：東京都中央区教育センター 多目的ホール

<参加者>

中央区内の小学生5年生と保護者15組

<プログラム>

電子紙芝居、工作教室（回転台の作成）、真正品と模倣品の展示

<協力>

日本弁理士会（関東支部）、特許庁、（社）コンピュータソフトウェア著作権協会、（一社）日本レコード協会、（一社）日本時計協会、（一社）日本商品化権協会、（株）サンリオ、（社）発明協会

(エ) 模倣品海賊版撲滅キャンペーン（模倣品・海賊版等の展示会）

第70回全日本学生児童発明くふう展（発明協会主催）及び中央区児童発明くふう展（中央区教育委員会主催）において、真正品・模倣品等やパネルの展示を行うとともに、IIPP等の模倣品対策に関するパンフレットを配布し、模倣品・海賊版等の被害についての情報発信を行った。

(a) 中央区児童発明くふう展（中央区教育委員会主催）

<開催日時・場所>

期日：2011年9月20日（火）～24日（土）

会場：東京都中央区教育センター 多目的ホール

<来場者数>

期間中 約220名

<展示品協力団体、企業>

特許庁、（社）コンピュータソフトウェア著作権協会、（一社）日本流通自主管理協会、（一社）日本レコード協会、（一社）日本時計協会、（一社）日本商品化権協会、（株）サンリオ、（社）発明協会

(b) 第70回全日本学生児童発明くふう展（発明協会主催）

(後援) 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、  
毎日新聞社、毎日小学生新聞

(協賛) 全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長  
協会、(社) 全国工業高等学校長協会

<開催日時・場所>

2012年3月27日(火)～31日(土)

科学技術館 1階展示場(東京都千代田区北の丸)

<展示品協力団体、企業>

特許庁、(社) コンピュータソフトウェア著作権協会、(一社) 日本流通  
自主管理協会、(一社) 日本レコード協会、(一社) 日本時計協会、(一社)  
日本商品化権協会、(株) サンリオ、(社) 発明協会

(オ) 中国北京市の小学生を対象とした知財普及啓発活動

中国北京市内の小学生向けに、着ぐるみ劇や展示パネル、テーマ作文等を通  
して、知財保護の重要性について啓発する活動を実施。北京市内の10つ  
の小学校の2～4年生計1,155名が参加し、非常に積極的なイベントと  
なった。また校内にはジェットロや日系企業などのパネルも展示し、日本側の  
知財保護の取り組みについても紹介した。

<開催時期>

2011年4月～6月

<参加者>

北京市内小学校4校の2～4年生、総計1,155名

(朝陽区内) 南磨坊小学、師範大学オリンピック花園小学校、垂楊柳中心  
小学、垡頭第一小学、勁松第一小学、松榆里小学、安慧北里  
小学、

(東城区内) 第一師範附属小学、培新小学

(西城区内) 復興門外第一小学

<プログラム>

1. 開幕式
2. 着ぐるみ劇
3. 知的財産権に関するお話、模倣品の観察
4. O×ゲーム
5. アンケート記入、記念品贈呈
6. 閉会式
7. 寄書きパンダの記入、記念撮影



<協力>

(株) サンリオ、ソニー(株)、パナソニック(株)、(株) バンダイ、三洋電機 (株)  
(株) 日立製作所、キャノン (株)、マツダ (株)

(カ) 消費者向け啓発活動（ウェブサイトの活用）

模倣品・海賊版が流通する背景として、消費者が購買する際の誤った認識や無関心、黙認などが大きな影響を及ぼしているという認識のもと、I I P P Fの消費者向けコンテンツに関するホームページを関係機関と団体が連携し、効果的な普及啓発に努めた。

## **(5)非プロジェクト（プロジェクトに所属していないWG活動）**

### **インターネットWG**

#### **①インターネットWGの活動及びその背景**

インターネットWGは、中国の商取引サイトにおける模倣品流通問題の改善を目的として、研究会および勉強会の2種類の活動形態で昨年度より発足した。

今年度は、インターネット研究会の活動では、インターネット・サービス・プロバイダー（ISP）との双方向的な情報交換を通じて協力関係を深め、その結果ISPとの覚書の締結、規則の改善などの成果を挙げることができた。

また、インターネット勉強会の活動では、ISP、権利者双方より発表が行われ、双方の立場におけるインターネット上の模倣品対策に関して情報収集を行うことができた。

#### **②活動記録**

##### **i) WGメンバー**

メンバー：

59社、12団体

##### **ii) 概要および活動結果**

##### **1. 知的財産セミナーの開催**

###### **日中インターネットシンポジウムの開催**

インターネット上の知的財産権侵害問題への改善を目的とし、日中ISPシンポジウムを北京で開催した。併せて、IIPPPIFインターネットWG、上海IPGインターネットWG、タオバオの間でインターネット上の知的財産保護協力にかかる覚書を締結した。

##### **2. プロジェクト会合の開催**

###### **インターネットWG（研究会）**

第1回会合（2011年4月15日）

- ・アリババ・タオバオの最新動向について報告
- ・経済産業省調査 2010年中国のインターネット上の被害実態について報告
- ・22年度活動の総括・23年度事業の検討

#### 第2回会合（2011年7月4日）

- ・ 幹事、副幹事の決定
- ・ タオバオ規則改正および新申し立てシステムについて報告
- ・ 日中インターネットシンポジウム講演およびパネルディスカッション内容の検討
- ・ タオバオとの共同研究内容について検討

#### 第3回会合（2011年8月26日）

- ・ 日中インターネットシンポジウム開催報告
- ・ アリババ・タオバオとの今後の交流について検討
- ・ 日中知財WGにおける議題募集
- ・ 経済産業省 汚染率調査実施の案内

#### 第4回会合（2011年10月13日）

- ・ 上海IPGとのテレビ会議について報告
- ・ アリババ・タオバオとの今後の交流について検討

#### 第5回会合（2011年11月30日）

- ・ 上海IPGとのテレビ会議について報告
- ・ 12月のタオバオとの意見交換会内容について検討

#### 第6回会合（2012年1月30日）

- ・ 12月のタオバオとの意見交換会について報告
- ・ タオバオとの今後の交流について検討

#### 第7回会合（2012年3月21日）

- ・ 上海IPGにおけるタオバオ・オンライン会議参加報告
- ・ アリババ・タオバオとの今後の交流について検討

#### インターネットWG（勉強会）

##### 第1回会合（2010年6月15日）

- ・ 講演「特定電気通信サービス事業者の注意義務」  
（華誠律師事務所 弁護士 徐申民 氏）

##### 第2回会合（2010年10月13日）

- ・ 講演「中国におけるインターネット上の模倣品対策事例—淘宝网の事例—」

- (株式会社ベネッセコーポレーション 松本主税 氏)  
・講演「日本・欧米等におけるインターネット上の模倣品対策事例」  
(一般社団法人ユニオン・デ・ファブリカン 堤隆幸 氏)

第3回会合(2011年12月12日、14日(東京、大阪にて開催))

- ・講演「タオバオ社の情報安全部について」  
(タオバオ(中国)ソフト有限公司 信息安全部 高級経理 陳剣華 氏)  
・講演「タオバオ社の知的財産権保護について」  
(タオバオ(中国)ソフト有限公司 信息安全部 経理 李晶 氏)  
・講演「タオバオが考える電子商取引に関わる知的財産権の侵害及びプラットフォームの責任」  
(タオバオ(中国)ソフト有限公司 信息安全部 法律顧問 慎凱 氏)

### 3. 中国ISPとの会合

第1回会合(2011年11月16日)

テレビ会議を通じて、中国ISP(タオバオ)と上海IPGおよびIIPPFとの意見交換会を開催し、タオバオに対して削除要請システムの改善要請や覚書に基づく共同研究の提案等を行った。

第2回会合(2011年12月14日)

東京にて、中国ISP(タオバオ)とIIPPFとの意見交換会を開催し、権利者より、隠語、特定用語、価格情報に基づく真贋判定基準についてタオバオに具体的説明を行い、「隠語、その他特定情報等を基本とした自主パトロール精度を上げる研究」を提案した。

### ③今後の活動

#### インターネットWGに対する対応

- ・インターネットWG研究会については、引き続きタオバオを中心とした中国ISPとの交流し、改善に向けた具体的な協力を形にしていく。また、東京での日中インターネットシンポジウムを通じて官民協力による本問題の改善に取り組んでいく。
- ・インターネットWG勉強会については、中国における本問題の法改正状況、ISPの取締状況の他、日本の権利者の対策活動等に関して情報収集に取り組んでいく。

以上